

## 理事会・評議員会記事録概要

### 平成二十六年四月二十二日付書面による理事会議事録概要

〔提案事項〕

公益財団法人日本美術刀剣保存協会刀剣等指導員規程第三条第二項による刀剣等指導員登録の申請をした三名の登録の承認。

提案者 会長 小野 裕

理事会の決議があったとみなされた日 平成二十六年四月二十二日(火)

議事録作成理事 専務理事 柴原 勤

平成二十六年四月十五日、会長小野裕が理事及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について、提案書を発送し、当該提案につき理事の全員から文書により同意する旨の意思表示を、また、監事から文書により異議がない旨の意思表示を得たので、定款第四十四条に基づき、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされました。

※刀剣等指導員に登録された三名の方のお名前は、本誌五月号(38ページ)に掲載しました。

### 平成二十六年第一回理事会議事録概要

- 1 開催年月日 平成二十六年五月十四日(水)午後一時から二時
- 2 開催場所 当協会四階講堂
- 3 出席理事数 総数二十名のうち十八名
- 4 出席監事数 二名
- 5 議長(の氏名) 会長 小野 裕
- 6 議長(会長)が定足数を確認し、本会議の成立を宣言しました。
- 7 議案の審議と議決結果等

第一号議案 平成二十五年事業報告(案)及び決算(案)について

柴原専務理事から事業報告(案)については博物館の入館者が前年比二・四パーセント増となったこと、審査申請点数が前年比十五パーセント増となったこと、及び会員の減少に下げ止まりの傾向が見られることの説明があり、

決算(案)については予算案では赤字予算であったが、昨年度より引き続き黒字決算となったことなどがそれぞれ資料に基づいて説明がありました。

また、杉山監事から監査報告があり、五月八日に監査を行い、事業報告及び決算書は適法、適正に作成され、計算書類等も正確であるとの説明がありました。

以上より、第一号議案は異議なく承認されました。

第二号議案 無鑑査規程第三条による無鑑査の選任について

柴原専務理事から資料に基づき説明があり、第二号議案は異議なく承認されました。

第三号議案 刀剣博物館の建設について

柴原専務理事から、刀剣博物館の建設について、現在の刀剣博物館は老朽化、耐震性の問題があり、また建替えた場合に代替施設の費用が多額となること及び建替えについては建ぺい率の問題もあり十分な空間を確保できないとの理由から、移転することを第一に検討しているが、必ずしも建替えの可能性を排除しているわけではなく、諸処の事情を踏まえた上で検討を進めていく旨、資料に基づき説明がありました。理事間で意見交換の後、第三号議案は異議なく承認されました。

#### 報告事項

- ① たたら炉の修復について  
小野会長より日刀保たたら地下構造の修復の予定があるとの報告がありました。
- ② その他  
小野会長より新たな公益事業推進のための委員会設置を検討しているとの報告がありました。

### 平成二十六年定時評議員会議事録概要

- 1 開催年月日 平成二十六年五月十四日(水)午後二時から三時十五分
- 2 開催場所 当協会四階講堂

- 3 出席評議員数 総数十九名のうち十六名
- 4 出席理事数 十六名（評議員会運営規則第二条第二項により出席）
- 5 出席監事数 二名（評議員会運営規則第二条第三項により出席）
- 6 議長兼議事録作成評議員 酒井 忠久
- 7 議長の選出 森評議員長が欠席のため、評議員会運営規則第七条第三項の規定により酒井評議員が議長に選出されました。
- 8 議案の審議と議決結果等  
（第一号議案 平成二十五年度事業報告(案)及び決算(案)の承認  
柴原専務理事から事業報告(案)については博物館の入館者が前年比二・四パーセント増となったこと、審査申請点数が前年比十五パーセント増となったこと、及び会員の減少に下げ止まりの傾向が見られるとの説明があり、決算(案)については予算案では赤字予算であったが昨年度より引き続き黒字決算となったことなどがそれぞれ資料に基づいて説明がありました。

また、小池監事から監査報告があり、五月八日に監査を行い、事業報告及び決算書は適法、適正に作成され、計算書類等も正確であるとの説明がありました。

以上より、第一号議案は異議なく承認されました。

第二号議案 刀剣博物館の建設について

柴原専務理事から刀剣博物館の建設について、現在の刀剣博物館は老朽化、耐震性の問題があり、また建替えた場合に代替施設の費用が多額となること、及び建替えについては建ぺい率の問題もあり十分な空間を確保できないとの理由から、移転することを第一に検討しているが、必ずしも建替えの可能性を排除しているわけではなく、諸処の事情を踏まえた上で検討を進めていく旨、資料に基づき説明がありました。

小野会長から本議案についての補足説明があり、評議員間で意見交換の後、第二号議案は異議なく承認されました。